

2023年12月14日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

中小企業経営者が選ぶ 2023 年の漢字は「高」

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、全国の中小企業経営者を対象として毎月実施しているアンケート調査「大同生命サーベイ」（2023 年 11 月度調査）、および中小企業経営者向けに提供しているWebコミュニティ「どうだい？」において、「今年の漢字®」（※）を確認した結果、「高」が第1位（3,740 名中 189 名が選定）となりました。

※「今年の漢字」は、（公財）日本漢字能力検定協会が主催し、その年の世相を表す漢字一字を募集・発表するものであり、同協会の登録商標です。（今回の調査結果は同協会の了承を得て公表しています。）

今回の調査は、中小企業経営者を対象に「今年一年の世相を表す漢字」を確認したものであり、物価高騰や賃上げなど様々な経営環境の変化に立ち向かう中小企業の姿勢が明らかになりました。（その他詳細は別紙参照）

当社は、中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションのご提供を通じ、今後も「中小企業に信頼されるパートナー」を目指してまいります。

<中小企業経営者が選ぶ 2023 年の漢字>

高

<選定理由>

- ・去年以上に、物価「高」・原材料「高」・コスト「高」…事業環境がより厳しくなった（南関東／情報通信業）
- ・いろんなものが「高」くなり、経営のハードルも「高」くなった。それでも志を「高」く持って乗り越えたい！（東海／建設業）など

<経営学者・入山 章栄 氏より>

2023 年の 1 文字が「高」になったのは二重の意味がある。一つは世界的なインフレ傾向と、日本でも余波を受けて光熱費・原材料費などが上昇して「値段が高く」なっていることによる「高」だ。これはコストプッシュ型のインフレであり、放っておくと経済に負担になる。需要が牽引するディマンド型に転換できるかが 2024 年の鍵だが、政府はそこにうまく対応できるのか。「税」の文字が気になるところだ。

第二に、世界中の気温が上がる「高」でもある。インフレは短期問題だが、気候変動は人類が長期で取り組まなければならないことであり、こちらの「高」に人類は当面悩まされるだろう。今年は「変」という文字も多く選ばれたが、これ以上地球が「変」にならないようにしていくしかない。



入山 章栄（早稲田大学大学院 ・ 早稲田大学ビジネススクール教授）
慶應義塾大学大学院修士課程修了。米ピッツバーグ大学博士号。三菱総合研究所からニューヨーク州立大学ビジネススクール助教授を経て現職。「日経ニュースプラス9」「ワールドビジネスサテライト」などの報道番組や経済誌等に多数出演・寄稿するなど活躍中。

中小企業経営者が選ぶ「2023 年の漢字」

- ・調査期間 : 2023 年 11 月 1 日～11 月 28 日
- ・調査対象 : 全国の中小企業経営者
- ・調査方法 : ①当社営業職員による訪問調査大同生命サーベイ
②Webコミュニティ「どうだい？」申込フォームからの回答
- ・有効回答数 : 3,740 件

順位	漢字	選定理由	回答数
1	高	・去年以上に、物価「高」・原材料「高」・コスト「高」… 事業環境がより厳しくなった（南関東／情報通信業）	189 (5.1%)
2	戦	・世界各地での「戦」争によりエネルギー資源などが高騰し、それ らに対し経営者として「戦」っている（北関東／製造業）	181 (4.8%)
3	暑	・あまりの「暑」さで、工場を休みにした（製造業／東北） ・「暑」さで商品（エアコン）が良く売れた（北海道／小売業）	168 (4.5%)
4	変	・アフターコロナ、働き方改革など時代の「変」化にあわせて、会 社も「変」わる必要があるため（東海／宿泊・飲食サービス業）	158 (4.2%)
5	税	・インボイス対応など事務処理が大変で、「税」に関する事で振り 回された1年だった（近畿／卸売業）	97 (2.6%)

